

関連合同部長会議

1992,1/10

KSDとM 8F

9:30~14:00

(出席者) 古関理事長、赤松専務理事、小山理事、嶋田部長
豊政連～中村総長、武澤事務局長、小林次長
横浜支部～高橋部長、宇田川部長、中川部長、河野部長、平林
部長、神山次長
東京支部～秋山支局長付、近江岸部長、央部長、橋本部長、横
山部長、定栄部長、西田部長、古澤部長、千葉部長、
安田部長、工藤調査役、矢島調査役、島津係長
西東京支部～柳沢支局長、藤井部長、
神奈川支部～島田支局長、林部長、浜部長、
埼玉支部～佐々木支局長、沖部長
千葉支部～中川支局長、鈴木部長
(司会) 宇田川部長

古関理事長： 村上正邦先生の署名運動について話したい。村上先生は、
IMMの設立に大きな御助力を頂いた。前回の比例区の選挙
では名簿は6番であったが、今回の7月の選挙では3番に上
げたい。恩返しの意味もある。

村上正邦先生は豪快で緻密な性格であり、国対委員長を務
め、重責を果たしていられる。大変な実力者で出版会では、
各首相経験者、衆参両院議長、金丸信、小沢前幹事長も出席
され、大変な実力者で将来が有望視されている。

村上先生は豊明議連の幹事長であり、IMMの設立を3ヶ
月で労働省を振り伏せた。これは我々の力ではなく村上先生
の力である。外国人労働者の件では、ぜひ議員立法を実現さ
せたい。3年以内には外国人労働者の雇用特別立法を作らな
ければならない。

村上先生は国対委員長で次期大臣は確実で、参議院なので労
働大臣に就任する可能性は80%ある。

党員募集の件は私個人サイドで行なったが、IMMの設立
では皆の力が集まれば実現できることがわかった。ここにき
て署名をすることが可能になった。恩返しをしたい。自民党
首脳は豊明会に注目している。半径200メートルの範囲で
会員が機関紙を手配りしている。婦人部の活発な活動に大変
注目している。

中小企業の団体が政治活動をするのはけしからんという人
がいる。やるべきことをやってない人が政治活動をやっている
からで、やるべきことをやっていれば何ら臆することはない。
国家のため、大衆のために行っている。政治をやって何
が悪いのか労働省にもはっきり言う。政治は中小企業を良く
するための手段である。世の中は変わってきている。ソ連が
崩壊することをだれが信じただろうか。世界の激変について
行けない。中小企業もまごまごしていたら、滅んでしまう。
政治をやるのは悪いことではない。

KSDで自民党の党員数20万票を確保する。そうなれば
自民党の幹事長が再敬礼する。中小企業の意志を反映できる。
この前哨戦が村上先生の署名運動である。これで自民党の首
脳にKSD豊明会を認めさせる。

中小企業に協力してくれる良い政治家は使わなきゃいかん。
また、良い政治家を育てなきゃいかん。中小企業に協力して
くれれば、野党も同等に扱いたい。

村上先生の署名は、遅くとも4月には署名を完了したい。
豊明会キャンペーンは6～8月を考えている。署名で動いた
人は、キャンペーンでも動いてくれる。期間が詰まっていた
方が好都合である。村上先生の署名は、中小企業を結束させ
る緒戦ということになる。皆で100万人署名実現のための
手段、方法を考えて頂きたい。